

# お元気がですか

(ハガキで失礼します)

パート4



佐賀大和ロータリークラブ会員

株式会社 シグマ 会長 堤 和之

堀和之

お  
元  
氣  
で  
す  
か  
  
（ハガキで失礼します）  
パート4

まえがき

「やあー」で始まるハガキ通信は読むたびに、わがクラブの出来事や、メンバ―の緊張そして笑いなどその息遣いが聞こえてきそうです。私は、この一年間会長の職にあつて、堤さんのハガキでの語りかけや、特に体調不調でスタートした年度でしたから私あての添え書きに気持ちや体が勇気づけられました。ハガキ通信がはじまった四年前に、どこまで続くかと無責任な励ましをしたことがあります。今となつてはそこ苦勞に申し訳なく思っています。しかし、ここまできたらこれからも展開するであろう我がクラブの人間ドラマを、堤さんの新鮮な感性、知性豊かな洞察力そしてユーモアたっぷりの表現で書き続けてほしいものです。佐賀県、長崎県のロータリー関係者および東京RCにまで、我がクラブの動静は発信されていきますから我がクラブの存在を知らない人は皆無となりました。

① 一時間だけ幸せになりたかったら酒を飲みなさい。

② 三日間だけ幸せになりたかったら結婚しなさい。

③ 八日間だけ幸せになりたかったら豚を殺して食べなさい。

④ もし永遠に幸せになりたかったらロータリーに溺れなさい。

(ロータリーの部分はゴルファー)夏坂健著「ゴルファーを笑え」より。  
香る文化と良質なメンバ―の育成を期待して。1978年会長 西富幸一

## 目次

まえがき	
新たなる航海	179
火星探査機がゆく	180
真剣なまなざし	181
新しい時計	182
とんだ連絡ミス	183
良いことを思う	184
more power to you	185
ユーモア	186
出会いのすばらしさ	187
マザー・テレサさん急逝	188
一夜の思い出	189

楽しくやろう

190

心を洗う

191

ハナミズキの木は残った

192

聞きなれない語句

193

思わぬことがある

194

時のたつのを忘れて

195

委員長人事はじまる

196

情けない日本人たち

197

ご苦労さん

198

米山梅吉翁の目

199

よいお年を

200

1998年お年賀

ことばを心に刻む

201

つらい峠のわかれ道

202

酒と交通事故

203

年男の福はうち

204

一本のナイフ

205

赤い梅の花びら

206

麗人和装

207

「も」と「しか」

208

「満つれば欠ける」

209

佐賀空港開港せまる

210

出席率になやむ

211

いつまでも若くありたい

212

職業奉仕がなければ

213

外部卓話

214

霜に打たれた柿の味	215
インドの核実験に反対	216
新しい米山奨学生	217
キップ完売しました	218
会長と幹事	219
面白い卓話	220
光ることば	221
小さな努力	222
八重桜は語りつぐ	223
あとがき	224



新たな航海・・・

佐賀大和ロータリークラブ

179

やあー。七月一日、イギリス領香港が一五五年を経て、晴れて中国に返還され、歴史に新たな時を刻みました。▼わがクラブも時を同じくして、七月一日（火曜日）が、新年度の一回目の例会日でした。きょうから新しい役員で例会が始まり、会場の雰囲気が変わりました。新人会員の金子智則さん、中原進さん、東興二さん、野口保信さん、上野倫五さんが準備をして頂くことになりました。なにかとても新鮮な空気を感じましたね。

▼西富幸一会長があいさつにたち・・・

◎私たちは良質な専門職の集まりであり、お互いに奉仕の気持ちを結び、いろいろな活動を通してロータリーの心を高めていきたい。

◎いま、社会で欠けている、心の問題を、深く見つめていきたい。

◎一度原点に立ち返り、全員参加で親睦を深めていきたい。

と、力強く話されました。よろしくお願ひします。  
役員が代わると、新しい風が吹きますね。皆さんが一緒に「今年は・・・やるぞ」と思ったに違いありません。その気持ちの表れです。▼「してしまったことを悔やむより、したかったのにしなかったことのほうが、悔やみは大きい」と言います。失敗は成功の土壌づくりに役立ち、しなければ可能性の土壌すらもできない。さあー頑張ろうね。乾杯。九七年七月一日

やあー。アメリカは、七月四日の独立記念日に、昨年十二月に打ち上げた火星探査機「マーズ・バスタード」を火星に到着させ、世界中を新たな興奮に巻き込みました。私の友人は、その一部始終を、インターネット回線を使ってNASAに乗り込み、最新の画像を取り込み、私のパソコンに届けてくれました。そのデータには、新聞にない多くの画像と詳しい解説がありました。また、緊縮予算が生んだ苦肉のエアバックとラジコン操作は、現状打開のヒントになりますね。▼例会のあとで理事会を開催。今年度予算の配分で協議をしました。苦心の予算編成に、集まった理事が意見を述べ、西富幸一会長、高岸新太郎幹事は真剣そのものです。いろいろな記念日にプレゼントをもらうが、その役立ちの是非が論議されました。誕生日はみんな「ハッピーバースデー」を歌おうとユニークな意見がでました。NASAの苦勞話を聞きに行きましようか。▼会員卓話は、東興二さんと宮原知司さん。東さんのカイロプティックの話は、治療は「20%の診療と80%の自然治癒力」と言う話に興味津々。強い意識が病巣を排除する話もよかったですね。宮原さんの話は、最近の修学旅行事情・・・。佐世保海軍基地で出会った一九歳の水兵の「任務発言」は、ややもすると、現状に流される私に「喝っ」を入れた。 九七年七月一五日

やあー。きょうは夜の例会でした。西富幸一会長と高岸新太郎幹事は、五つのクラブを就任あいさつで廻ってみて「やはり我がクラブは、なごやかでがいい」と自画自賛。だれでも同じ「わが子はかわいい」のであります。創立四年目という若さは、すばらしいことなのです。今宵はこのほか、和気あいあいとなり論壇風発、閉会点鐘がはばかれたほどでした。「佐賀大和RCのあるべき姿」や「見えないロータリアンの姿」などが、閉会後も論議されました。▼前会の「水兵発言」が舌足らずでしたから、珍しさもあって説明してくれた水兵（と）さんの昼食時間に食い込んでしまいました。見ると食卓はすでに後かたづけに取り掛かっていました。もはやそこに食事は無いのです。宮原さんは一食を抜いた水兵さんに、すっかり恐縮してしまいお詫びをしたときに、ただひと言「任務ですから」と答えが返ってきたというのです。宮原さんはホテルの支配人。その水兵さんの凛々しい毅然とした態度に、痛く感動したと卓話で話されたのです。▼国際女子テニス（支援の会）事務局の緒方うらさんが、こんな話を。国際試合になると女子の思い切りのよさが目立ち、男子の思い切りの悪さが目立つと。過去は、こんなではなかったなー。九七年七月二二日

やあー。今朝、母が縁側で新聞を読んでいる私に「腕時計が古くなったので新しく買ったよ」と腕を差しだして、嬉しそうに見せてくれました。私は、白い文字盤の時計を見ながら一瞬感じたことがありました。それは、八五歳の母が新しい時計を買ったという気持ちの新鮮さです。考えもしなかったことでした。そして、私は、自己中心で人を顧みない自分の傲慢さにも気づきました。母が、京都の弟がプレゼントした思いでの時計を、捨て難く使っていたことなど考えてもいなかったのです。「時計代は私に払わせて」と言ったら、とても喜んでくれました。いい朝でした。▼佐藤勇美鳥栖RC会長がメークアップで来会。会員七〇名という大所帯です。から、三五名の我がクラブに、いささか拍子抜けしたことでしよう。女子会員も二名ということでした。例会を中座した彼は、鳥栖市の市民行事に参加して献血運動を展開したり、バザーで四〇万円集めたとか、韓国RCとの姉妹クラブ締結が一〇年を越えた話など、創立二三年というクラブのパワーをまざまざと感じる話をしてくれました。地元で社会奉仕運動をどう展開するか模索中の我がクラブに刺激になります。▼例会場が龍登園に変更になりました。会員が増えたからです。前の会場は見晴らしがとてすばらしく思い出に残る会場でした。前会場に感謝。九七年七月二九日

やあー。夏なのに梅雨を思わせる雨が降っています。この気象変化は、さまざまな経済活動に異変を起こしかねません。景気動向は二極化の方向に進んでいるようですから、自分だけ見るんじゃなくて、全体を見るのが大切なようです。お互いにしっかり頑張りたいものです。▼きょうは、有田RCにメークアップしました。南善三さんのご依頼で、我がクラブの岩永ブレシアさんが、卓話に招かれたので同席することにしました。「私の見た、すばらしい日本」と言う演題で限られた時間に、卓話をごとに締めくくりました。出席された会員の一人が岩永さんに「あなたは、笑顔がいいですね」と言われましたがその通りです。彼女の深刻な顔を見たことがあります。さすがロータリアン「人を見る目が鋭いな」と思いました。道中の土砂降りの雨が思い出に残りました。▼ところが、その日の夕方です。事務局の石田美奈子さんからイエローカードが届きました。「無断欠席ならず」のカードです。「お弁当が残りました」・・・と。今年、緊縮予算でスタートした当クラブに、無駄を生んだと反省しきりです。二度とこのようなことがないように気をつけます。出席率はカバーできたが、弁当は欠席でした。▼人の役に立ちたいという広い心が、仕事を成功に導くことがあります。(マーフィーの法則) 九七年八月五日



良いことを思う・・・

佐賀大和ロータリークラブ

184

やあー。いつもの夏ならば、カンカン照りの真夏日なんです。きょうなんか例会場に向かう足がすくむような激しい雨足でしたね。五階の会場から見下ろした官人橋付近の川上川は、水嵩が増して今にもあふれんばかりです。自然の営みの怖さを垣間見る気がしました。▼西富幸一会長が「この激しい雨の中をご出席いただき感謝します」と、皆さんの労をねぎらっていました。会長や幹事を経験すると、本当に皆さんの協力が無いと例会が成り立たないことを実感します。同時に会員のたゆまぬ努力を知るきっかけになります。また、「お世話をしている」が、実は「お世話になっている」ことなのだと思ふこともあります。▼人間は、このような感謝の場面に出会ったときに、いろいろなことに気づき、他人の苦勞を偲ぶことができます。そして、思わず昔の謙虚な気持ちに立ち返るのですね。その点で言えば、この激しい雨が、私たちが忘れかけていた謙虚さを呼び覚ます機会を作ってくれたことになりました。ロータリアンでなかったら気づきもなかったでしょう。三五人のさらなる親睦を示唆した雨であつたのです。ひとしきり激しく降った雨も帰途につくころは止みました。▼良いことを思えば良いことが起きます。悪いことを思えば悪いことが起きます。これは潜在意識の法則です。(マーフィーの法則) 九七年八月一二日

more power to you.

佐賀大和ロータリークラブ

185

やあー。きょうは、辻洋三ガバナールの公式訪問を受けました。昨晩は、雨で二度も順延した川上川花火大会をご覧になり、お忙しい辻ガバナールとっては一服の安らぎだったことでしょう。▼クラブへのアドバイス。

- ① 弁当の無駄・電話一本かける思いやり。
- ② 出席すれば親睦につながる・まず顔を合わせる事が大切。
- ③ 出席率の維持・・・その努力がクラブのよき将来をつくる。
- ④ 色々な会合に出席・・・きつと人生に得るものがある。
- ⑤ ニコBOXは・・・年間功勞者上位三人まで表彰したら。
- ⑥ 会員の増強・・・増えないと活力がでない。減ると衰退。放置は閉会。
- ⑦ 女性会員四名は・・・我が地区の快挙。最先端を走る。
- ⑧ 会員の選考・・・神経質にならないこと。
- ⑨ ○○強調月間・・・いい講師を迎えて卓話を企画すれば。

▼岩永ブレスリアさんが一分間英会話で、辻ガバナールに welcome to sagayamatō rotary club と歓迎あいさつ。そして、あと三二箇所の公式訪問の無事を祈って、more power to you と会話の練習を行い、最後に学習した英会話で一同が激励のメールを送りました。このクラブはすごいね・・・九七年八月一九日

やあー。きょうは夜の例会で会場は大和屋さん。佐賀南RCのアレグリーニさんがメイクアップで来会されたので、隣に座って楽しい食事を共にしました。アレグリーニさんが、メンバーの一人に「お齡は幾つですか」と聞かれた時の答えが「わたしは二〇年前に、八〇歳です」と言われ、話にこの笑いの切れが欲しいですね。「佐賀んもんの歩いたあとには草も生えん」ではなく、佐賀んもんの歩いたあとには笑いのあんな」と言われてみたいものです。▼大和屋の主人は藤崎三起男さん。その彼のアイデアですが、「会員増強には夫婦で会員にならどうか」と言うのです。家庭に理解されないロータリアンが多すぎるから、夫婦でメンバーになれば、その親睦と奉仕の行動と会員増強が一挙に解決すると言うのです。「これで今年の会員は倍増するぞ」と言うのです。その話は酒が入って増幅して「本人欠席の場合は家族が代理出席したらどうか。例えば息子とか嫁さんとか・・・」。「きょうは父ちゃんの代わりに息子の私がありました」。「うん。そうかい、そんないどこか空いた席にすわんさい」と、言うような訳で、佐賀大和RCは会員が三倍増したと言う話。これも馬鹿うけでしたね。▼世の中を明るくする笑いが欲しいですね。九七年八月二六日

出会いのすばらしさ・・・

佐賀大和ロータリークラブ

187

やあー。英国のダイアナ元妃(38)が、先月三十一日未明に不慮の交通事故で死亡されました。離婚後、この一年はガン撲滅やエイズ対策そして地雷廃絶など、もっぱら慈善活動を通して平和貢献をされていきましたから、その事故死は全世界に悲しいショックをあたえました。そのすごい人気は各国首脳の哀悼の辞を見てもわかり、人類は世紀末にかけがえのない人を失いました。▼林睦敏さんが三度目の米山功労者に輝きました。きょう西富幸一会長から賞状が手渡され、林さんのたゆまぬ努力に盛んな拍手が惜しみなくおくられました。一人でも多くのかたに米山功労者になってほしいものです。私は、米山記念奨学会の地区委員ですから、特に皆さんにお願いしたい気持ちで一杯です。経済的理由で向学心を失うのは社会的にもとても大きな損失ですね。まして優秀であれば尚のことです。▼中原進さんと野口保信さんがそれぞれ一五分間卓話をされ、お二人の職業をとおした職業奉仕のありかたや、これからのご自分の抱負を語ってもらいました。お話しを聞きながら若いということはすばらしいことだと、我が身をふと思いました。卓話を聞くといち早く相手を理解することができ、同時に出会いのすばらしさを実感します。▼人の役に立ちたいという広い心が仕事を成功に導くことがある。(マーフィーの法則)感謝・九七年九月二日